

日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2023決定。




*Flower
of the Year*
JAPAN FLOWER
SELECTIONS
2023-2024

及び
特別賞受賞品種のご紹介
切花部門 / 鉢物部門 / ガーデニング部門

■ 「いい花の新基準」。ジャパンフラワーセレクション

ジャパンフラワーセレクション (JFS)とは、「いい花の新基準。」を合言葉に、業界初の統一的な品種コンテストとして2006年春からスタート。

国内外の新品種の中から、消費者に本当に推奨できる優れた品種を選定しています。

各審査会で受賞品種のなかから、フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）や、ベスト・フラワー（優秀賞）、各種特別賞を選定しています。

フラワー・オブ・ザ・イヤー <i>Flower of the Year</i>	モーストジョイ 特別賞	ニューバリュー 特別賞	カラークリエイト 特別賞	ニュースタイル 特別賞	ライフデザイン 特別賞	ジャパンデザイン 特別賞	モニター 特別賞
--	----------------	----------------	-----------------	----------------	----------------	-----------------	-------------

ベスト・フラワー <i>Best Flower</i>	フレグランス 特別賞	フリーディング 特別賞	グッドパフォーマンス 特別賞	フォトジェニック 特別賞	コンテナガーデンパフォーマンス 特別賞	コンテナパフォーマンス 特別賞	ガーデンパフォーマンス 特別賞
--------------------------------	---------------	----------------	-------------------	-----------------	------------------------	--------------------	--------------------



いい花の新基準。

<http://www.jf-selections.net/>

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内
TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743
メール : jfpc@jfpc.or.jp

ジャパンフラワーセレクション2023-2024 審査会の開催状況

■切花部門

審査会名	審査日	審査対象品種
春審査会	審査日：2023年4月7日（金） 会場：大田市場花き部内（株）大田花き	15品種
秋審査会	審査日：2023年10月16日（月） 会場：大田市場花き部内（株）大田花き	10品種
切花部門 合計		25品種

審査会の様子



切花部門春審査会の様子



鉢物部門春審査会の様子



ガーデニング部門屋根付き施設での審査の様子



ガーデニング部門露地花壇での審査の様子

■鉢物部門

審査会名	審査日	審査対象品種
春審査会	審査日：2023年5月19日（金） 会場：大田市場花き部内 （株）フラワーオークションジャパン	8品種
秋審査会	審査日：2023年11月21日（火） 会場：大田市場花き部内 （株）フラワーオークションジャパン	9品種
鉢物部門 合計		17品種

■ガーデニング部門

審査会名	審査日	審査対象品種
春 夏秋 秋審査会	審査日：（第1回）2023年 6月20日（火） （第2回）2023年 7月25日（火） （第3回）2023年 9月12日（火） （第4回）2023年 11月7日（火） 会場：千葉大学環境健康フィールド科学センター）	19品種
ガーデニング部門 合計		19品種

■切花・鉢物の審査会では、買参人と市場関係者による人気投票を実施しました。（写真は人気投票第1位（モニター特別賞）受賞花）



春審査会

トルコギキョウ
「エグゼアンティークピンク」
（カネコ種苗(株)）



春審査会

アジサイ
「月うさぎ」
（島根県）



秋審査会

グロリオサ
「シキブ2」
（JAあいち中央グロリオサ研究会）



秋審査会

ユーフォルビア（ポインセチア）
プリンセチア ピュアレッド
（サントリーフラワーズ(株)）

御協力いただいた審査員の先生方

部門	審査員名
切花部門	穴戸 純 (株)大田花き 商品開発部 部長〈部門長〉 大根 秀夫 (株)千政 代表取締役 小泉 吉寿 (株)白楽花園 チーフデザイナー 細谷 宗令 元千葉県農林総合研究センター 増田 篤 (株)日比谷花壇 バンケット事業統括部 購買企画推進部 部長 宮本 亮 (株)フラワーオークションジャパン 切花部 営業部 部長
鉢物部門	平田 隆明 (株)フラワーオークションジャパン 常務取締役 鉢物本部長〈部門長〉 岡部 幸一 (株)大田花き 営業本部 第二グループ グループリーダー 尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役 香取 邦枝 第一園芸(株) 商品販売事業本部 店舗事業部 部長 小池 安比 東京農業大学 農学部 農学科 教授 向原 潤 (株)ディノス・セシールフラワーネット本部 フラワーネット事業部 EC/事業推進ユニット チーフ
ガーデニング部門	山本 岳史 豊明花き(株) 企画本部外商部 部長〈部門長〉 尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役 杉井 志織 はなぐみ 代表 村上 智弘 (株)フラワーオークションジャパン 鉢物部 部長 山口 まり 日本ハンギングバスケット協会 理事 渡辺 均 千葉大学環境健康フィールド科学センター 教授
中央審査委員会	中央審査委員長 安藤 敏夫 切花部門長 穴戸 純 鉢物部門長 平田 隆明 ガーデニング部門長 山本 岳史

ジャパンフラワーセレクション2024-2025の審査会開催予定

切花部門・鉢物部門

■春審査会

「横浜フラワー&ガーデンフェスティバル2024」内での開催となります。

審査日：2024年5月2日（木）

場所：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）

展示期間：2024年5月3日（金・祝）～6日（月・祝）

■秋審査会

10月～11月に開催

*詳細が決まり次第、ジャパンフラワーセレクションのホームページ上「WHAT'S NEW」に発表いたします。

ガーデニング部門

（千葉大学環境健康フィールド科学センター）

■定植の適期にあわせて出品いただく審査です。

募集締切：植え込み希望の約1か月前までに申請書をご提出ください。

植栽開始：春の花 2月～3月頃に定植

：夏～秋の花 3月末～6月頃に定植

観察・審査会：出品花の開花期を考慮し、

1～2か月に1回開催

2024年の切花・鉢物部門「春審査会」の日程が決まりました！

次回切花・鉢物部門「春審査会」は「春審査会」は、パシフィコ横浜を会場にした園芸イベント「横浜フラワー&ガーデンフェスティバル2024」内で開催されます。

公益社団法人日本家庭園芸普及協会主催の「ジャパンセレクション（人気投票）」との共同で開催しますので、来場者の人気投票も行います。

ご出品ご希望の方はご準備をおすすめくださいますようお願い申し上げます。

開催日程

切花部門・鉢物部門ともに 審査日：2024年5月2日（木）
審査会後の展示：2024年5月3日（金・祝）～6日（月・祝）

写真は2022年「春審査会」(於：横浜市役所)審査後の展示の様子



【出品ご協力をお願い】 関東東海花の展覧会でのPR展示にご協力ください。

2024年1月26日（金）～28日（日）に第72回関東東海花の展覧会が池袋サンシャインシティ文化会館で開催されます。ジャパンフラワーセレクション実行協議会では、過去の受賞品種と2023年の最新の受賞品種をPR展示コーナーで展示、紹介致します。お花の時期が合えば、ぜひご出品ください。（JFSの展示は、26日（金）と27日（土）の2日間となります）

写真は2023年のJFS受賞品種コーナーの様子



* 関東東海花の展覧会とは・・・花に対する理解を深め、一層の花の消費拡大を図ることを目的として、関東東海地域の1都11県と花き関係6団体が主催する、日本で最大規模の伝統ある花の展覧会です。

2023年の受賞品種だけでなく、過去の受賞品種、またその関連品種、シリーズ品種など、消費者のみなさまが興味を持ってご覧になれるような場としたいと思います。お申し込みについては、JFSのHPをご覧ください。

ジャパンフラワーセレクションの賞体系について



1. フLOWER・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。
各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会で決定します。

2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。
各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。
なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでになかった価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

(切花部門・鉢物部門)
これまで比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱いやすく、育てやすい品種に授与されます。

「ジャパンデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあただけで日々の生活を楽しませ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「コンテナパフォーマンス特別賞」

「ガーデンパフォーマンス特別賞」

(ガーデニング部門)
コンテナとガーデンの両方のパフォーマンスに優れている場合は、「コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞」と表記します。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

「フォトジェニック特別賞」

写真を活用した情報発信やコミュニケーションをしたくなるような写真映えの良さを持つ品種に授与されます。

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1~3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません)
ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。
JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRにご活用ください。



切花部門

フラワー・オブ・ザ・イヤ― (最優秀賞) 2023

カネコ種苗(株) トルコギキョウ「エグゼアンティークピンク」

受賞者 : カネコ種苗(株) (群馬県)

育成者 : 北爪 伸英

育成者権者 : カネコ種苗(株)

ホームページ : <http://www.kanekoseeds.jp>

審査講評 : 赤みの強いアンティークカラーの中大輪で、
花卉数が多く強いフリンジが豪華。人気の
ベージュ系従来品種「ウェーブクラシカ」よ
りも赤みが強く、シックでありながら華やか
さも時流にマッチした雰囲気が見事。

色目に微妙な揺らぎがある点もよい。く
すみ系カラーは用途のシーンを選ぶが、
人気の高さが続いている。
買参人と市場関係者の人気投票でも第1
位となった。



■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】

シックで落ち着いた雰囲気のあるアンティーク系花色は、近年ブライダルを中心に人気が高まっています。弊社ではウェーブクラシカやクラシカル等のアンティーク系花色の品種を販売してきましたが、フリンジ咲きの品種が無かったため、アンティーク系花色で豪華な花形の品種を目的として開発を行いました。

【開発の面白さ・今後の展開など】

ユーストマ(トルコギキョウ)は同じ品種でも作型や生産者によって花の色や表情に違いが出やすいため、新品種の候補が期待通りにならないこともあり、そこが難しく、且つ面白いところです。エグゼアンティークピンクは高温期の栽培は難しいため、より高温期栽培に適した品種の開発も行っていきます。

ベスト・フラワー(優秀賞)、ジャパンデザイン特別賞

トルコギキョウ

エマライトブルー

カネコ種苗(株)



受賞者：カネコ種苗(株)

(群馬県)

育成者：北爪伸英

育成者権者：カネコ種苗(株)

ホームページ：<http://www.kanekoseeds.jp>

審査講評： 清涼感のあるライトパープルブルーの中小輪一重咲き。茎は硬いがしなやかで、風に揺れる姿がナチュラル&ノスタルジック。

重厚な八重咲き品種全盛のなか、軽やかで新鮮味を感じる。和の生け込みにも使ってみたい。形のよい丸弁で、他系統に比べて花が閉じにくいのも利点。花もちも非常に良い。

咲き終わりに近づいた花の形や色が大きく変化しないため目立たず、メンテナンスもしやすいところも利点。

ベスト・フラワー(優秀賞)とジャパンデザイン特別賞を同時受賞。人気投票では第2位となった。

ベスト・フラワー(優秀賞)、モーストジョイ特別賞、フォトジェニック特別賞

バラ

シュガーボム!

イノチオ精興園(株)



受賞者：イノチオ精興園(株)

(広島県)

育成者：Petrus Schreurs

育成者権者：イノチオ精興園(株)

ホームページ：<https://www.seikoen-kiku.co.jp/compa>

審査講評： 白地とピンク色の覆輪の濃淡が発色よく、インパクトのある花色が美しい。輪も大きくボリュームがあり、草姿のバランスの良さも見事。酷暑を超えたこの時期でありながら、花弁に傷もなく、しっかりとした大輪は素晴らしく、今後、期待できる品種になるのでは。展示期間中の観察にはなるが、日保ちについても問題がなかった。トゲが少なくなれば、なお扱いやすくなるだろう。

ベスト・フラワー(優秀賞)とモーストジョイ特別賞、フォトジェニック特別賞も同時受賞。

ライフデザイン特別賞

キク

クチュール

(株) デリフロールジャパン



受賞者：(株) デリフロールジャパン (静岡県)

育成者：

育成者権者：Deliflor Royalties B.V.

ホームページ：<http://www.deliflor.co.jp>

審査講評： 花卉表面のマゼンタ色と裏面のクリーム色が織りなす色彩は、まるで裏地で色遊びをする着物のよう。今までにないカラーの組み合わせの個性的な美しさと趣をもつ大輪デコラマム。

葉のサイズがもう少し小さいとスタイリッシュに見えやすいという意見もあったが、全体的にボリューム感と迫力がある。

キクの新たな魅力を伝える品種。ライフデザイン特別賞受賞。人気投票では5位となった。

グッドパフォーマンス特別賞

キク

スーパーボウル

(株) デリフロールジャパン



受賞者：(株) デリフロールジャパン (静岡県)

育成者権者：Deliflor Royalties B.V.

ホームページ：<http://www.deliflor.co.jp>

審査講評： 折り重なる花卉が構成する立体感が印象的な、純白の一輪向きポンポンマム。フォーマルなシーンに、気品あふれる柔らかな情感を添える。

従来品種よりもボリュームがあり、形もよく、新たなシーンでの活躍が期待できる。開花するごとにぎっしりと球状に詰まった花卉によって重みも加わるため、茎もしっかりと硬い必要がある。

月見や球技の祝い花や、またユーラモスな使い方もできそう。グッドパフォーマンス特別賞受賞。

ライフデザイン特別賞

 キク デセオ (株) デリフロールジャパン


受賞者：(株) デリフロールジャパン (静岡県)

育成者権者：Deliflor Royalties B.V.

ホームページ：<http://www.deliflor.co.jp>

審査講評：ベルベット調のパープルカラーがロマンチックなデコラ系ポンポンマム。気温がある時期には花弁にホワイトのピコティ（縁取り）が入り、花形のエレガントさが際立つ。これまでにない色目は印象的で、広く人気が出そう。和洋を問わず、用途の幅が広い。一輪仕立て、多輪仕立てとも可能。上品なテクスチャーの花弁だけに、傷が付かないように扱いたい。
ライフデザイン特別賞受賞。

カラークリエイト特別賞

 キク セイリーク イノチオ精興園(株)


受賞者：イノチオ精興園(株) (広島県)

育成者：イノチオ精興園(株)

育成者権者：イノチオ精興園(株)

ホームページ：<https://www.seikoen-kiku.co.jp/>

審査講評：イエローとレッドのコントラストが人目をひく複色品種。トロピカルというより、アジア的な印象。1輪だけでも十分な存在感があり、ギフトや装花として周年利用できる。とくに秋や迎春のアレンジメントや花束にも加えてみたい。多様なリーフ類との相性もよさそう。
花芽分化以降の気温差や日照量によって、カラーの出方に変化があるとのこと。秋のほうが黄色が多く軽やか、冬季のほうが赤色部分が多く出る。
カラークリエイト特別賞受賞。

フォトジェニック特別賞

バラ

セドナ!

イノチオ精興園(株)



受賞者：イノチオ精興園(株) (広島県)

育成者：Petrus Schreurs

育成者権者：イノチオ精興園(株)

ホームページ：<https://www.seikoen-kiku.co.jp/con>

審査講評： 白色に濃ピンク色が挿すコントラストの美しい中輪複色のスプレーバラ。さわやかで、豪華さ、賑やかさなどを演出するのに幅広く使える。

80～90年代を彷彿させるようなバイカラーのカラーリングが、現代に新風を吹かせそう。トゲが少なくボリューム感があってステムが長く、小さなアレンジメントから大型の装花まで対応可能。

フォトジェニック特別賞受賞。

グッドパフォーマンス特別賞

バラ

プリマネーヴェ

イノチオ精興園(株)



受賞者：イノチオ精興園(株) (広島県)

育成者：(有)本田園芸

育成者権者：イノチオ精興園(株)

ホームページ：<https://www.seikoen-kiku.co.jp/con>

審査講評： クラシカルな花形とソフトなアイボリーカラーが美しい小輪のスプレーバラ。花卉数が多くボリューム感たっぷり。

使いやすい色目で主役にも脇役もこなせ、利用シーンも幅広いだろう。ブライダルはもちろん、ホームユースにもおすすめしたい。ほのかな香りもよい。スプレーバラとして輪数も多く、トゲがなく扱いやすいのも利点。

グッドパフォーマンス特別賞受賞。

ジャパンデザイン特別賞、モニター特別賞(秋)

グロリオサ

シキブ2

JAあいち中央グロリオサ研究会



受賞者： JAあいち中央グロリオサ研究会 (愛知県)
育成者： 小澤只嗣
育成者権者： 小澤只嗣

審査講評： ヴィヴィットな赤色でなく、独特な渋めの赤色のグロリオサ。
従来にあったロスチャイルディアナを彷彿させる色合いだが、比べてみれば草姿はしっかりして使いやすくなっている。花保ちも良かった。
従来の華やかな雰囲気とは違う、ダークカラーのグロリオサは、使い方が難しいかもしれないが、合せる花や葉の雰囲気を工夫すれば、用途を広げるかもしれない。
ジャパンデザイン特別賞受賞。展示中の人気投票では第1位となり、モニター特別賞も受賞した。



グッドパフォーマンス特別賞

バラ

ビスビス (Bisou Bisou)

(株) ROSETIQUE JAPAN



受賞者： (株) ROSETIQUE JAPAN (東京都)
育成者： 今井清
育成者権者： (株) ROSETIQUE JAPAN
ホームページ： <https://www.rosetique.tokyo>

審査講評： 個性的な花形、リバーシブルの花色が人目をひき、扱いやすそう。かわいらしいサイズ感でアレンジメント向きに思える。利用の場面も多いだろう。花自体は小ぶりであるものの、花弁が強健で茎がしっかりしておりトゲが少ないことから、生産の場でも小売の場でも扱いやすいだろう。ネーミングと花の雰囲気がマッチしている。
グッドパフォーマンス特別賞受賞。人気投票では、第2位。



ジャパンデザイン特別賞

キク

マスカレード

(株)デリフロールジャパン



受賞者：(株)デリフロールジャパン

(静岡県)

育成者権者：Deliflor Royalties B.V.

ホームページ：<http://www.deliflor.co.jp>

審査講評：華やかな色調とボリューム感がマッチした、主役級の花の魅力がある。色は、深みのあるラズベリーピンクでシックな雰囲気もあり、ユーザーに受け入れられやすい現在のトレンドカラーともいえる。弁先に入る白色の縁取りによって、花の造形が美しく映える。満開時には、コロンと丸いポンポン咲きとなる。

ほかの花とも合わせやすそうで、アレンジメント、ブーケともに扱いやすいだろう。

ジャパンデザイン特別賞受賞。

ブリーディング特別賞

デルフィニウム

F1ルチアスカイブルー

(株)ミヨシ



受賞者：(株)ミヨシ

(山梨県)

育成者：磯部知里

育成者権者：(株)ミヨシ

ホームページ：<https://www.miyosi.co.jp/>

審査講評：発色の良いライトブルーのエラーム系のデルフィニウム。従来のエラータム系の花穂のように大きすぎないというコンセプトは、とても興味深い。量産が可能となり価格帯が許せば、小さめのアレンジメントやブーケなどにまで用途が広がるだろう。生産性に期待したい。

ブリーディング特別賞受賞。

ライフデザイン特別賞

バラ マサコ (有)アミノ



受賞者：(有)アミノ (神奈川県)
育成者：今井清
育成者権者：(有)アミノ

審査講評： ソフトな色調とミルラの芳香がマッチした、ブライダルにもおすすめしたい品種。人気のカップ咲きだが、花弁の質がデリケートで傷がやや目立った。トゲはほとんど無く、扱いはしやすい。ライフデザイン特別賞受賞。

フレグランス特別賞

バラ ユハル (有)アミノ



受賞者：(有)アミノ (神奈川県)
育成者：今井清
育成者権者：(有)アミノ

審査講評： ふわふわとした花弁と丸みを帯びた花型。大輪だがかわいらしい印象もある。フルーティな芳香と併せて魅力的。ただし、花弁の質はデリケートで、シミや傷が目立ちやすい。夏越し後の秋冬期に審査してみたい。フレグランス特別賞受賞。

鉢物部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2023

（株）ハクサン シクラメン「イリュージア ピンクラテ」

受賞者：（株）ハクサン（愛知県）
 育成者：Schoneveld Breeding
 育成者権者：（株）ハクサン
 ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>
 審査講評：従来シクラメンとは一味違う上向きで咲く花は、まるでサクラの花のよう。内側の花弁の突起など独創性にあふれ、豪華で新規性に富んでいる。

連続開花性にすぐれ、花もちもよい。コンパクトな草姿だからこそ、上向き咲きが生きているのだろう。気持ちを明るくしてくれるような魅力がある。種子系F1品種のため、揃いがよく生産効率が高い。



■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】

次々と上向きに花が咲く進化系品種です。1輪の花持ちが良く、株を覆いつくすほど豪華に咲き誇ります。突起状の内側の花弁が幻想的なイメージです。様々な特徴的を持つ一方、種子系F1品種のため価格的にも手取りやすく、多くの方にお楽しみいただけるかと思えます。

【開発の面白さ・今後の展開など】

シクラメンを中心にF1種子系品種をオランダで開発しています。イリュージアを開発するのに7年以上の歳月がかかりましたが、画期的な品種を世に送り出すことができるととても嬉しく思います。今後も色々出てきますのでお楽しみに！

ベスト・フラワー(優秀賞)、フォトジェニック特別賞

アジサイ

YULIKA

(有)さかもと園芸



受賞者：(有)さかもと園芸 (群馬県)

育成者：ピムマ ティアムチャイ

育成者権者：ピムマ ティアムチャイ

ホームページ：sakamotoengei.com

審査講評：遠目にも人目を惹く発色のよい覆輪の八重咲きガクアジサイ。とくに赤系は白色とのコントラストが美しく、写真映えもし非常に印象的。花形も独創的で今までの品種にはない面白みがあり、ギフトにも向くだろう。翌年も赤系の色目が出やすい。花芽がつきやすく庭植えも可能。やや葉のヨレや傷みが気になった。少しコンパクトな仕立てにすると、株がバランスよくなりそう。

ベスト・フラワー(優秀賞)とフォトジェニック特別賞を同時受賞。人気投票第2位。

ベスト・フラワー(優秀賞)、ブリーディング特別賞、モニター特別賞(春)

アジサイ

月うさぎ

島根県



受賞者：島根県 (島根県)

育成者：女鹿田博之 加古哲也 稲村博子 清水由佳

育成者権者：島根県

ホームページ：<https://www.pref.shimane.lg.jp/top.h>

審査講評：ふっくらと盛り上がる花房は存在感とインパクトがあり、人目を惹く。立ち上がる両性花と周囲の八重咲きの小花と、2種類の花形が楽しめるのも独創的。艶のある緑葉と白花のコントラストがさわやか。草姿もすぐれている。ギフトとしてもホームユースとしてもおすすめできるので、ピンク系もぜひ期待したい。花後に切り戻すと4~6割は秋に返り咲くという点も興味深く、この品種の花後の手入れについての説明が消費者へうまくできれば、新しい楽しみ方ができ、より良いだろう。ベスト・フラワー(優秀賞)、ブリーディング特別賞を受賞。人気投票では1位となり、モニター特別賞(春)も同時受賞。

ベスト・フラワー(優秀賞)、ブリーディング特別賞、モニター特別賞(秋)

ユーフォルビア

プリンセチア ピュアレッド

サントリーフラワーズ(株)



受賞者： サントリーフラワーズ(株) (東京都)
 育成者： サントリーフラワーズ(株)
 育成者権者： サントリーフラワーズ(株)
 ホームページ： <https://www.suntory.co.jp/flower/>

審査講評： プリンセチアシリーズのデビュー時から望んでいたカラーがいよいよ登場。鮮赤色がたいへん人目をひき、存在感を放つ。名前の通り「赤」を実感でき、グリーンの葉によく映える。苞の数が多くボリューム感があり、花つき、草姿のバランスもよく、ギフトにもおすすめしたい。「赤」だけに付加価値が感じにくいという意見もあった。プリンセチアならではの特別感、また従来のプリンセチアファンに向けてのアピールにも期待したい。

ベスト・フラワー(優秀賞)、ブリーディング特別賞を受賞。買参人と市場関係者の人気投票で1位となり、モニター特別賞(秋)も同時受賞した。

ベスト・フラワー(優秀賞)、ライフデザイン特別賞

ファレノブシス

ライラ

(有) 椎名洋ラン園



受賞者： (有) 椎名洋ラン園 (千葉県)
 育成者： 椎名 正剛
 育成者権者： 椎名 正剛
 ホームページ： <https://sheena.ranran.co.jp/>

審査講評： ピュアホワイトの花弁にグリーンが乗る唯一無二の花色。かすかなドットが印象的で、不思議な感覚を呼び起こす。淡い色目でありながら存在感がある。

コンパクトでスリムな草姿は狭い場所でも楽しめる。たくさんの花が重なり合うように咲く姿がスイートな雰囲気。ラグジュアリーなショップやウェディングの飾り花にも似合うだろう。和の雰囲気にも似合いそう。

ベスト・フラワー(優秀賞)、ライフデザイン特別賞受賞。

ジャパンデザイン特別賞

マーガレット

京都恋物語

シミズナーセリー



受賞者： シミズナーセリー

(京都府)

育成者： シミズナーセリー

審査講評： コロンとした丸い花形がかわいい八重咲き小輪のマーガレット。花色が移り変わり、低温期は赤色が濃く、気温の上昇とともに白色の割合がふえる。

ひと鉢のなかでグラデーションが楽しめる点は評価できる。花もちがよく多花性で、ピンチしなくても自然と丸く整うエアリーな株姿。シルバーブルー系の葉色が渋めの花色を引き立てる。寄せ植えやガーデニング素材としても期待する。

品種名のように和の雰囲気にも似合いそう。ジャパンデザイン特別賞受賞。

ニューバリュー特別賞

ヘデラ

森の妖精

永尾園芸



受賞者： 永尾園芸

(福岡県)

育成者： 永尾寿夫

審査講評： 小ぶりな葉が4月中旬から白斑が鮮明になり、高温期にはグリーンに戻るというヘデラ。秋に再び白斑が現れたのちに紅葉し、冬はグリーンに戻るという従来の変化の仕方とは違う点が興味深い。斑の入り方は美しい。

販売時に季節ごとの葉色の写真を参考資料に添えると説得力が上がるだろう。

斑の入り方、色の変化に対する需要がどれぐらいあるのか、現時点では未知数だが、特徴を上手にアピールしたい。ニューバリュー特別賞を受賞。

モーストジョイ特別賞

アジサイ

Ange Noir (アンジュ ノワール)

久保田花園



受賞者：久保田花園

(群馬県)

育成者：久保田哲也

育成者権者：久保田哲也

ホームページ：<https://www.is-flower.com>

審査講評： ダークカラーの艶葉とピンクの花の組み合わせが魅力的。比較的早咲きで、ライトグリーンに濃ピンク系の縁どりから透明感のあるピンクへと咲き進む色の変化は楽しい。花は密に着きボリューム感があるので、ギフトとして存在感はたっぷり。

品種名のように、葉色がさらに黒っぽさが強ければ、メリハリが出て花のかわいらしさがより引き立つだろう。

モーストジョイ特別賞受賞、人気投票第4位。

ニュースタイル特別賞

アジサイ

Bonita(ボニータ)

久保田花園



受賞者：久保田花園

(群馬県)

育成者：久保田哲也

育成者権者：久保田哲也

ホームページ：<https://www.is-flower.com>

審査講評： 小鉢（4号）向けに特化し、今までにないプチゴージャスを目指して育種された八重咲き品種のアジサイ。寄せ植えなどにも利用できそう。

アジサイについて「もう少し小さい鉢だったら欲しい」という消費者の声もあるので、このタイプの需要もあるだろうという意見もあった。バランスのよい出来栄は評価できる。コンパクトタイプでの販売で花のサイズが大きめだと大味に見えてしまいがちなので、花自体がもう少し小さ（細か）いほうがアジサイらしさが際立つかもしれない。

改良の余地もあるが、新しいスタイルとして期待したい。ニュースタイル特別賞受賞、人気投票はアンジュノワールと同票で第4位。

ライフデザイン特別賞

アジサイ

ポージブーケ エリー

(有) さかもと園芸



受賞者：(有) さかもと園芸

(群馬県)

育成者：ピムマ ティアムチャイ

育成者権者：ピムマ ティアムチャイ

ホームページ：sakamotoengei.com

審査講評： 八重咲きのかわいらしいテマリ形アジサイ。色濃く咲き始め、ピンクやブルーのグラデーションで咲き進むさまが美しい。マットな花色は洒落ている。とくにブルーはすっきりとした色目が好印象。

形よい花房はボリュームも十分で花つきもよい。株姿も美しく、万人に受け入れられる品種だろう。花芽がつきやすく揃いがよい。ライフデザイン特別賞受賞。人気投票では第3位。



グッドパフォーマンス特別賞

バラ

Zepeti (ゼプティ)

(株) エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株) エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)

育成者：Meiland

育成者権者：京成バラ園芸(株)

ホームページ：<https://www.mbflora.co.jp/>

審査講評： 耐暑性、耐寒性にすぐれ、暖地では冬でも常緑を保つ。分枝性、連続開花性にすぐれ、まとまった株姿。耐病性も期待でき、多用途で楽しめるバラ。春から晩秋まで楽しめ、1輪の開花期間が20日間と長く、花が散りにくいため手入れが楽。鮮赤色の花色はよいが先端が黒くなるのがやや気になり、鉢物のバラとしての華やかさも欲しいところ。また、耐陰性をテストし、ギフト対応できるかも検討して欲しい。グッドパフォーマンス特別賞受賞。



ジャパンデザイン特別賞

マーガレット

レディフレア

静岡県東部花き流通センター 農業協同組合



受賞者：静岡県東部花き流通センター農業協同組合（静岡県）

育成者：武藤貴大、勝岡弘幸

育成者権者：静岡県

ホームページ：<http://www.hanahana.or.jp/>

審査講評：これまでのマーガレットにはなかった、秋にぴったりなアンティークなカラーがかわいらしい。飽きのない趣きを感じさせる「和テイスト」なアズキ色。細葉と花とのバランスもよい。

極早生性、多花性で長期間楽しめるということなので、さらに小さく作って寄せ植え素材にも向きそう。鉢物だけではなく、ガーデンでの展開にも期待したい。

ジャパンデザイン特別賞受賞。

グッドパフォーマンス特別賞

シクラメン

ジックス ピンク

(株)ハクサン



受賞者：(株)ハクサン

(愛知県)

育成者：Schoneveld Breeding

育成者権者：Schoneveld Breeding

ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>

審査講評：ジックスシリーズではじめてのピンク色。多花性で、シックでかわいらしい色目が印象的。同シリーズの他品種同様、花もちがよい。

傘のような花形が個性的でインパクトがあり、白い萼とのコントラストがかわいい。顔を寄せて、手元に置いて見たくるので、あえて小さく仕立てるとこの花の魅力が伝わりやすい。種子系F1品種のため、揃いがよく生産効率が高い。

グッドパフォーマンス特別賞受賞。

フォトジェニック特別賞

ファレノブシス

シナモン

(有) 椎名洋ラン園



受賞者：(有) 椎名洋ラン園

(千葉県)

育成者：椎名 正剛

育成者権者：椎名 正剛

ホームページ：<https://sheena.ranran.co.jp/>

審査講評： 温もりを感じられるベージュの花に、アクセントとなるビビッドなピンク色のリップがよく映える。まるで蠟細工のような質感と印象で、美しい。小ぶりの花がもこもこと詰まりながらランダムにつき、広がるように咲く姿がかわいらしい。コンパクトにまとまる株姿ながら、寄せ植えにしたときのダイナミックなボリューム感が素晴らしく、和洋どちらの空間にもマッチする。
フォトジェニック特別賞受賞。

ガーデニング部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2023

（株）ハクサン フロックス「オープニングアクト ピンクアドット」



受賞者：（株）ハクサン（愛知県）

育成者：Walters Gardens

育成者権者：（株）ハクサン

ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>

観察期間：2023年4月7日～11月7日

審査講評：淡ピンク色の花弁と中心に濃いピンクの星形のアイの組み合わせが季節を問わず、また誰にでも好まれる印象の宿根フロックス。鮮やかで美しいグリーンの葉との組み合わせが一層さわやか。

観察期間中、花の柔らかな印象とは違った強健さを確認できた。耐暑性が強く、生育旺盛で分枝性にすぐれ、満開後に切り戻せば秋まで返り咲く連続開花性に富んでいた。切り戻し後の草姿が格別に美しく、花の大きさも小さくならず、花上がりがよく花数も減らない。フロックスの大敵であるうどんこ病に強いことも特筆に値する。



5/25撮影



屋根付き施設

▲2023/4/20
（定植後13日）



▲2023/5/25
（定植後48日）



▲2023/6/8
（定植後62日）



7/28ピンチ

▲2023/8/3
（定植後118日）



▲2023/9/14
（定植後160日）



▲2023/10/26
（定植後202日）



露地花壇

▲2023/4/20（定植後13日）



▲2023/5/25（定植後48日）



▲2023/8/31（定植後146日）



▲2023/9/26（定植後172日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】生育旺盛で分枝性に優れます。フロックスの大敵であるうどんこ病に強い。満開後に切り戻しすれば秋まで何度も返り咲き、一年草のように長く花を楽しめます。耐暑性は高く、耐寒性は-30℃程度と日本全国で栽培可能です。

【開発の面白さ・今後の展開など】アメリカでPROVEN WINNERSのペレニアルを中心に開発しています。これまでの宿根草の枠にとらわれず、より育てやすく、手間がかからず、観賞価値の高いものをお届けしています。今後ご期待ください。

ガーデニング部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2023

（株）ハクサン ブッドレア「パグスター アメジスト」



受賞者：（株）ハクサン（愛知県）

育成者：Spring Meadow Nursery

育成者権者：（株）ハクサン

ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>

観察期間：2023年4月7日～11月7日

審査講評：樹高、株幅ともに約60cmとコンパクトな樹形の新しいタイプのブッドレアで、花壇だけでなく、コンテナで楽しむこともできる。アメジスト色の花穂はふっくらとボリューム感があり、数も多く存在感たっぷり。特徴ある花穂がランダムに咲くコケティッシュな姿は、花がらをあまり目立たせないほど。従来のブッドレアのように蝶が芳香・蜜に蝶が引き寄せられる姿も見られた。

新枝咲きで何度も繰り返し花を長く楽しめるが、株のまとまりをくずさないのは大きな利点だろう。耐寒性、耐暑性にすぐれ、日本全国で栽培可能。ステムが強く、枝折れしにくい。



▲2023/4/20
（定植後13日）

▲2023/6/22
（定植後76日）

▲2023/8/3
（定植後118日）

▲2023/8/31
（定植後146日）

▲2023/9/26
（定植後172日）

▲2023/10/26
（定植後202日）



▲2023/4/20（定植後13日）

▲2023/6/22（定植後76日）

▲2023/7/20（定植後104日）

▲2023/10/12（定植後188日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】樹高、株幅ともに約60cmとコンパクトで鉢栽培も可能です。通常のブッドレアよりもふわふわでボリュームのある花穂のため、かわいらしさも併せ持ちます。蝶が引き寄せられる香りの良い花を繰り返し楽しめます。耐寒性-28℃で耐暑性も高く、日本全国で栽培可能です。

【開発の面白さ・今後の展開など】アメリカよりPROVEN WINNERSのシュラブ品種をお届けしています。小さなスペースにもフィットする小型品種や花が咲く時期以外にも観賞価値の高い葉の綺麗な品種などを中心に開発しています。年々厳しくなる夏の環境下でも、最低限のお手入れで楽しめる品種をこれからもお届けしてまいります。

ガーデニング部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2023

サントリーフラワーズ（株） ペチュニア「サフィニアプチ さくらもこもこ」



受賞者 : サントリーフラワーズ（株）（東京都）
 育成者 : 松原晋、諏訪理恵子
 育成者権者 : 京成バラ園芸（株）
 ホームページ : <https://www.suntory.co.jp/flower>
 観察期間 : 2023年4月14日～9月12日
 審査講評 :

花色、花形、サイズが小さなサクラの花弁のようなペチュニア。ピンク色は夏でも退色しなかった。名前のごとくモコモコとドーム状にまとまる草姿は新規性がある。観察中にピンチは行わなかったが、花数も多く、蒸れもなく連続開花していた。耐暑性が高く、花がらも目立たず、メンテナンスが簡単なことも評価できる。とりわけ、屋根付きのハウスの中での観察は、鉢を覆うようにこんもりとしたパフォーマンス見られた。花が小さくかわいらしいこともあり、ガーデンなど修景用というより、近くで観賞するコンテナ植えにお薦めしたい。



7/25撮影



屋根付き施設



▲2023/4/20
（定植後6日）

▲2023/5/25
（定植後41日）

▲2023/7/6
（定植後83日）

▲2023/7/20
（定植後97日）

▲2023/8/17
（定植後125日）

▲2023/8/31
（定植後139日）



露地花壇



▲2023/4/20（定植後6日）

▲2023/6/8（定植後55日）

▲2023/7/20（定植後97日）

▲2023/8/31（定植後139日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】「可愛い、強い！」がこの品種のコンセプトです。「さくらもこもこ」はまるで桜のような極小輪の花弁と、もこもことしたぎゅっとまとまる草姿が特徴です。また、可愛らしい見た目にもかかわらず、暑さや蒸れにも強いのでガーデンパフォーマンスの良さも魅力です。

【開発の面白さ・今後の展開など】コンパクトタイプのペチュニアは株元が蒸れやすく、梅雨時期に枯れ込むことが多いです。消費者の方々に夏を越えて長く楽しんでいただくため、暑さ・蒸れに強い品種を開発・選抜できたことは困難でしたが面白くもありました。今後は花色展開を目指しています。

ベスト・フラワー(優秀賞)、コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞

ロベリア

アーリースプリング ピンク

(株)エム・アンド・ビー・フローラ



6/20撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)
 育成者：Ball Horticultural Company
 育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
 HP：<https://www.mbflora.co.jp/>

観察期間：2023年4月1日 ~ 7月25日

審査講評：従来のロベリアにはなかったピンクの花色が個性的で新規性がある。長短がある茎が立ち上がって立体感があり、連続開花する小花が愛らしい。コンパクトにまとまる草姿で株割れもない。花がらがやや目立ち、セルフクリーニング性という点では改善が望まれる。

4月1日に定植してから1か月強で花いっぱいであこんもりとしたドーム状になり、仕上りの早さが観察できた。開花期が7月中旬までなので、本格的に暑くなる夏前までの観賞期間だろう。

ベスト・フラワー(優秀賞)とコンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞受賞。



5/25撮影



6/20撮影

屋根付き施設



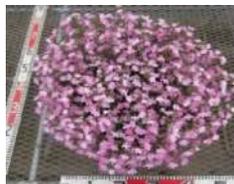
2023/4/6
(定植後5日)



2023/4/20
(定植後19日)



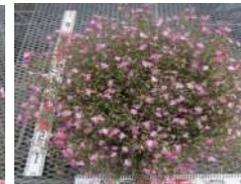
2023/5/11
(定植後40日)



2023/5/25
(定植後54日)



2023/6/22
(定植後82日)



2023/7/20
(定植後110日)

露地花壇



2023/4/6
(定植後5日)



2023/4/20
(定植後19日)



2023/5/11
(定植後40日)



2023/6/22
(定植後82日)

ベスト・フラワー(優秀賞)、ガーデンパフォーマンス特別賞、モーストジョイ特別賞、フォトジェニック特別賞

ビデンス

キャンプファイヤー レモンシロップ

(株)ハクサン



7/25撮影

受賞者：(株)ハクサン (愛知県)
 育成者：Psenner
 育成者権者：(株)ハクサン
 HP：<https://hakusan1.co.jp/>

観察期間：2023年4月7日 ~ 11月7日

審査講評：かき氷にレモンシロップをかけたような、白地の花の中心部分にレモンイエローが爽やかな印象のハイブリッドビデンス。高温多湿に強く、日長も中性に近い。
 定植後から連続開花し、春から初冬まで咲き続ける。盛夏に花数は減るが、葉の鮮やかなグリーンも美しく、下葉の枯れもなかった。分枝性にすぐれ、ピンチを入れても入れなくても草姿が乱れることなくこんもりとよく茂る姿は見事。

花がらもあまり気にならず、ローメンテナンスでかなり長期間楽しむことができるので、ビギナーにもお薦めしやすい。

ベスト・フラワー(優秀賞)とガーデンパフォーマンス特別賞に加え、モーストジョイ特別賞、フォトジェニック特別賞という多くの賞を同時受賞。



7/25撮影



7/25撮影

屋根付き施設



2023/4/20
(定植後13日)



2023/5/25
(定植後48日)



2023/6/22
(定植後76日)



2023/8/3
(定植後118日)



2023/8/31
(定植後146日)



2023/10/26
(定植後202日)

露地花壇



2023/4/20
(定植後13日)



2023/6/22
(定植後76日)



2023/8/31
(定植後146日)



2023/10/26
(定植後202日)

ベスト・フラワー(優秀賞)、ガーデンパフォーマンス特別賞

トレニア

スーパートレニア カタリーナ アメジスト

(株)ハクサン



7/25撮影

受賞者：(株)ハクサン (愛知県)
 育成者：(株)ハクサン
 育成者権者：(株)ハクサン
 HP：https://hakusan1.co.jp/

観察期間：2023年5月19日 ~ 11月7日

審査講評： ジャパンフラワーセレクション2019でベスト・フラワー(優秀賞)、グッドパフォーマンス特別賞を受賞した「スーパートレニア カタリーナ ピンクリバー」に遜色なく、同シリーズに加わった新色。高貴な濃い青色の花は、夏にさわやかであり、秋口にはガクが赤みを帯びて秋らしい色みになる。

定植直後から連続開花し、生育旺盛で株張りが大変によく、観賞期間が長い。ローメンテナンスなので、夏の花壇に最適。グラウンドカバーとしての利用もおすすめしたい。

ベスト・フラワー(優秀賞)とガーデンパフォーマンス特別賞を受賞。



7/25撮影



7/25撮影

屋根付き施設



2023/5/25
(定植後6日)

2023/6/22
(定植後34日)

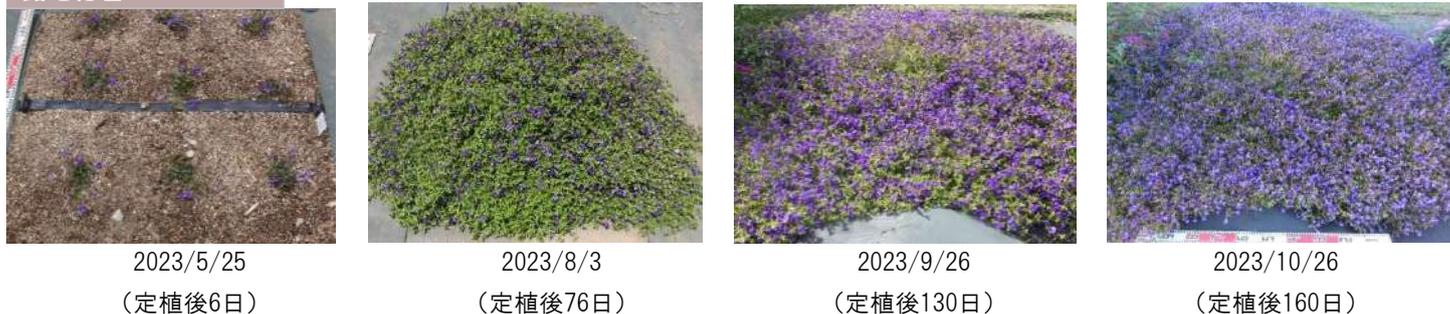
2023/7/6
(定植後48日)

2023/8/3
(定植後76日)

2023/9/14
(定植後118日)

2023/10/12
(定植後146日)

露地花壇



2023/5/25
(定植後6日)

2023/8/3
(定植後76日)

2023/9/26
(定植後130日)

2023/10/26
(定植後160日)

ベスト・フラワー(優秀賞)

ニューギニアインパチェンス サンパチェンス スイートハート

(株) サカタのタネ



9/26撮影

受賞者：(株) サカタのタネ

(神奈川県)

育成者：(株) サカタのタネ

HP：<https://www.sakataseed.co.jp/>

観察期間：2023年5月19日 ~ 11月7日

審査講評： 極淡いピンクの花色で、中心に赤いアクセントが入るサンパチェンスシリーズの新品種。高温や強光線に負けず、春から秋までの長期間花が咲き続ける連続開花性が観察でき、期待を裏切らないパフォーマンスを見せてくれた。

草姿はこんもりとバランスよくまとまり、株が小さいうちから花つきが良いので、露地花壇だけでなく、鉢植えにも向く。花の傷みが同シリーズのホワイト(ver.2)よりやや目立つという意見もあったが、今年の過酷な暑さの中、終日直射日光に当たる環境下でこのパフォーマンスは見事。耐暑性はホワイト(ver.2)より高いという評価もあった。

ベスト・フラワー(優秀賞)受賞。



9/14撮影



7/25撮影

屋根付き施設



2023/5/25

(定植後6日)



2023/6/22

(定植後34日)



2023/8/3

(定植後76日)



2023/8/31

(定植後104日)



2023/9/26

(定植後130日)



2023/10/26

(定植後160日)

露地花壇



2023/5/25

(定植後6日)



2023/7/20

(定植後62日)



2023/8/31

(定植後104日)



2023/10/26

(定植後160日)

ベスト・フラワー(優秀賞)

ニューギニアインパチェンス サンパチェンス ホワイト(ver.2)

(株) サカタのタネ



9/14撮影

受賞者：(株) サカタのタネ

(神奈川県)

育成者：(株) サカタのタネ

HP：<https://www.sakataseed.co.jp/>

観察期間：2023年5月19日 ～ 11月7日

審査講評： 旺盛な生育力と連続開花性が高く評価されているサンパチェンスシリーズの白色品種。従来品種よりも株張りよく、咲き始めから花つきにすぐれる。白く大きな花は、茎葉のグリーンとのコントラストが爽やかで美しかった。
暑さや強光線に負けることなく春から秋まで花が咲き続け、コンテナ植えでも草姿のバランスよく生育した。「スイートハート」と比べると耐暑性ではやや劣るかという意見もあったが、白花にもかかわらず花にシミがつかない点は評価された。

ベスト・フラワー(優秀賞) 受賞。



9/26撮影



7/25撮影

屋根付き施設



2023/5/25
(定植後6日)



2023/6/22
(定植後34日)



2023/8/3
(定植後76日)



2023/8/31
(定植後104日)



2023/9/26
(定植後130日)



2023/10/26
(定植後160日)

露地花壇



2023/5/25
(定植後6日)



2023/7/20
(定植後62日)



2023/9/14
(定植後118日)



2023/10/26
(定植後160日)

ベスト・フラワー(優秀賞)、コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞

アンゲロニア

エンジェルダンス バイオレットハイカラー

(株)エム・アンド・ビー・フローラ



7/25撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)
 育成者：Ball Horticultural Company
 育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
 HP：<https://www.mbflora.co.jp/>

観察期間：2023年5月26日 ~ 11月7日

審査講評：紫と白の2色咲きの個性的な花色が特徴のアンゲロニア。白色がアクセントとなってにぎやかに見える。一つ一つの花が大きく、花穂も長く、よく目立つ。

従来品種に比べて樹勢が強く、しなやかな枝ぶりなため折れにくい。鉢植えの場合は、そのしなやかな枝が生長とともに「暴れ」にも見えやすいので、必要に応じてピンチをかけることをお勧めする。花壇でもピンチした方が、株割れや花数の減少の対策ができたので、手入れの方法を消費者には案内をすると良いだろう。

ベスト・フラワー(優秀賞)とコンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞を受賞。



9/14撮影



7/25撮影

屋根付き施設



2023/6/8
(定植後13日)



2023/7/6
(定植後41日)



2023/8/3
(定植後69日)



2023/8/31
(定植後97日)



2023/9/26
(定植後123日)



2023/10/26
(定植後153日)

露地花壇



2023/6/8
(定植後13日)



2023/7/20
(定植後55日)



2023/8/17
(定植後83日)



2023/10/26
(定植後153日)

ベスト・フラワー(優秀賞)、コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞、モーストジョイ特別賞

アンゲロニア

エンジェルダンス フクシアハイカラー

(株)エム・アンド・ビー・フローラ



7/25撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)
 育成者：Ball Horticultural Company
 育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
 HP：https://www.mbflora.co.jp/

観察期間：2023年5月26日 ~ 11月7日

審査講評： フクシアピンクと白の2色咲きのコントラストは、アンゲロニアのなかでは珍しい花色。一つ一つの花が大きく、花穂も長い。花数は同シリーズの「バイオレットバイカラー」のほうが少し多い印象。

生育旺盛で花つきもよく、連続開花性にすぐれる。「バイオレットバイカラー」と同じく、コンテナ植えより庭植えの方がパフォーマンスにすぐれるようだ。株が乱れないようピンチして整えるとよいだろう。従来品種に比べて樹勢が強く、しなやかな枝ぶりで強風でも折れにくい。

ベスト・フラワー(優秀賞)とコンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞に加え、モーストジョイ特別賞を受賞。



9/14撮影



7/25撮影

屋根付き施設



9/14ピンチ

2023/6/8 (定植後13日) 2023/7/6 (定植後41日) 2023/8/3 (定植後69日) 2023/8/31 (定植後97日) 2023/9/26 (定植後123日) 2023/10/26 (定植後153日)

露地花壇



9/14ピンチ

2023/6/8 (定植後13日) 2023/7/20 (定植後55日) 2023/8/31 (定植後97日) 2023/10/26 (定植後153日)

ベスト・フラワー(優秀賞)、コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞、カラークリエイト特別賞

ニチニチソウ

夏花火 レッド

(株)エム・アンド・ビー・フローラ



7/25撮影



8/31撮影



7/25撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)

育成者：(株)ミヨシ

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

HP：<https://www.mbflora.co.jp/>

観察期間：2023年5月26日 ~ 11月7日

審査講評： 従来の小輪ニチニチソウにはなかった待望の鮮明なレッド。多花性で連続開花性にすぐれ、夏でも花が小さくならず花もちもよい。

生長は比較的緩慢だが、分枝性がよく、株割れもなくこんもりと美しく丸い株姿に仕上がる。5月末に定植してから11月初旬までの長期間にわたって、花が途切れることがなくローメンテナンスで楽しめる。消費者にお勧めできるポイントがたくさんあった。

ベスト・フラワー(優秀賞)とコンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞、カラークリエイト特別賞を受賞。

屋根付き施設



2023/6/8
(定植後13日)



2023/7/6
(定植後41日)



2023/8/3
(定植後69日)



2023/8/31
(定植後97日)



2023/9/26
(定植後123日)



2023/10/26
(定植後153日)

露地花壇



2023/6/8
(定植後13日)



2023/7/20
(定植後55日)



2023/8/31
(定植後97日)



2023/10/26
(定植後153日)

ベスト・フラワー(優秀賞)、ガーデンパフォーマンス特別賞

コリウス

トレイルブレイザー ロードトリップ

(株)エム・アンド・ビー・フローラ



7/20撮影



6/20撮影



6/20撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)
 育成者：Ball Horticultural Company
 育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
 HP：<https://www.mbflora.co.jp/>

観察期間：2023年5月26日 ~ 11月7日

審査講評：生育旺盛な這性コリウス。緑の縁どりのあるバーガンディ色の葉の中心に濃いピンクのアクセントが入る。

分枝性にすぐれ脇芽も多く、どこで切り戻しても草姿を保てるため、株のコントロールがしやすい。葉が小さく節間が詰まりすぎないので、ナチュラルな印象。株割れもせず、大面積の花壇やグラウンドカバーに向いている。花上がりが遅いことも大きな魅力。強健でパフォーマンスが素晴らしいので、用途をしっかりと伝えてアピールすることが大切だろう。

ベスト・フラワー(優秀賞)とガーデンパフォーマンス特別賞を受賞。

屋根付き施設



2023/6/8
(定植後13日)



2023/6/22
(定植後27日)



2023/7/6
(定植後41日)



2023/8/17
(定植後83日)



2023/8/31
(定植後97日)



2023/9/26
(定植後123日)

露地花壇



2023/6/8
(定植後13日)



2023/7/20
(定植後55日)



2023/8/31
(定植後97日)



2023/9/26
(定植後123日)

ガーデンパフォーマンス特別賞、ニュースタイル特別賞

カンパニュラ

マジェスティックブルー

(株)ハクサン



7/25撮影



6/20撮影



6/20撮影

受賞者：(株)ハクサン (愛知県)

育成者：WinGen

育成者権者：(株)ハクサン

HP：<https://hakusan1.co.jp/>

観察期間：2023年4月7日 ~ 11月7日

審査講評：従来のホタルブクロとは異なる、枝元近くから広がって育つ種間交雑品種。

少しずつ連続開花するが、高温期になると花数が減る。分枝性にすぐれ、枝元近くからしっかりと茂るので、花数が減る時期でもグラウンドカバーとして活用できるだろう。

株張りはよいが、高温障害による葉の傷みが多少見られた。もう少し花の上りが良いとうれしいところだが、少しずつでもずっと咲いていることも良いという意見もあった。新たなカンパニュラとして、利用方法の可能性に期待したい。

ガーデンパフォーマンス特別賞、ニュースタイル特別賞を受賞。

屋根付き施設



2023/4/20

(定植後13日)



2023/5/25

(定植後48日)



2023/6/22

(定植後76日)



2023/8/17

(定植後132日)



2023/9/26

(定植後172日)



2023/10/26

(定植後202日)

露地花壇



2023/4/20

(定植後13日)



2023/6/22

(定植後76日)



2023/8/17

(定植後132日)



2023/10/26

(定植後202日)

コンテナパフォーマンス特別賞

ペラルゴニウム

スーパーゼラニウム チャンピオン ロージー

(株)ハクサン



6/20撮影

受賞者：(株)ハクサン

(愛知県)

育成者：Psenner

育成者権者：(株)ハクサン

HP：<https://hakusan1.co.jp/>

観察期間：2023年4月7日 ～ 9月12日

審査講評：耐暑性が強化されたゼラニウム。ピンクと白のバイカラーの大きい花が豪華に咲く。分枝性は高く、花茎があまり伸びないのでこんもりとまとまる。生育が早く株張りが良い。真冬以外はほぼ一年中花が楽しめるというが、日本の夏は暑すぎたか、8月ごろから高温障害が現れた。しかしながら6月下旬に鮮やかに咲きそろった様子は見事だった。本栽培観察は9月に終了したが、本来は冬越しも可能なため、コストパフォーマンスも高い。コンテナパフォーマンス特別賞受賞。



6/20撮影



6/20撮影

屋根付き施設



2023/4/20

(定植後13日)



2023/5/25

(定植後48日)



2023/6/22

(定植後76日)



2023/7/20

(定植後104日)



2023/8/3

(定植後118日)



2023/8/17

(定植後132日)

露地花壇



2023/4/20

(定植後13日)



2023/5/25

(定植後48日)



2023/6/22

(定植後76日)



2023/7/20

(定植後104日)

カラークリエイト特別賞

コリウス

バレッティ メルセデス

(株)エム・アンド・ビー・フローラ



8/31撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)
 育成者：Young Sun
 育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
 HP：<https://www.mbflora.co.jp/>

観察期間：2023年5月26日 ~ 11月7日

審査講評：切れ込みのある葉と葉色が個性的なコリウス。赤い葉色に入った黄色系の縁取りが、葉形の面白さを際立たせている。直射日光下でも葉が焼けにくく美しい葉を保つ。

オータムカラーのにぎやかな切れ込み葉は、秋の寄せ植えやハンギングバスケットにも利用できそう。また、合わせる植物によって使い勝手が広がるだろう。分枝性にすぐれ大きく育つが、株が倒伏することはなかった。花上がりは遅く、また、花後も草姿が乱れない。

カラークリエイト特別賞受賞。



7/20撮影



7/20撮影

屋根付き施設



2023/6/8
(定植後13日)



2023/7/6
(定植後41日)



2023/7/20
(定植後55日)



2023/8/17
(定植後83日)



2023/8/31
(定植後97日)



2023/9/26
(定植後123日)

露地花壇



2023/6/8
(定植後13日)



2023/7/20
(定植後55日)



2023/8/31
(定植後97日)



2023/9/26
(定植後123日)

ガーデンパフォーマンス特別賞

コリウス

マイクロブレイズ マッチスティック

(株)エム・アンド・ビー・フローラ



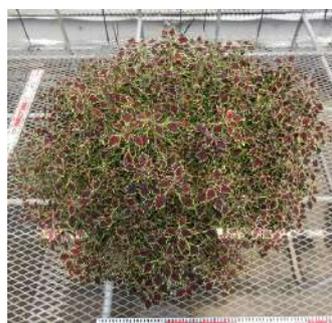
7/25撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)
 育成者：Ball Horticultural Company
 育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
 HP：<https://www.mbflora.co.jp/>

観察期間：2023年5月26日 ~ 11月7日

審査講評： ワインレッドにライムグリーンの縁取りの対比が鮮やかで、モザイク模様のように見える。小葉でドーム状にまとまりつつ、よく広がるのでグラウンドカバーに向く。かなり生育旺盛なため、目的によって定植時の株数を考慮することが必要。花上がりは遅く、観賞価値のある期間は長い。夏を過ぎるとやや株が徒長気味になり、立性と這性の茎が混在しているようになるのがやや気になった。

ガーデンパフォーマンス特別賞受賞。



8/3撮影



7/25撮影

屋根付き施設



2023/6/8
(定植後13日)



2023/7/6
(定植後41日)



2023/7/20
(定植後55日)



2023/8/17
(定植後83日)



2023/8/31
(定植後97日)



2023/9/26
(定植後123日)

露地花壇



2023/6/8
(定植後13日)



2023/7/20
(定植後55日)



2023/8/31
(定植後97日)



2023/9/26
(定植後123日)

コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞

ルドベキア

サンベキア オフィーリア

高松商事(株)



9/12撮影

受賞者：高松商事(株) (千葉県)
 育成者：Hartwig Bull
 育成者権者：Hartwig Bull
 HP：<https://www.tacoflower.jp/>

観察期間：2023年6月23日 ~ 11月7日

審査講評：従来品種より花弁が大きい極大輪系のルドベキア。耐暑性があり蒸れに強く、夏花壇で長期間、高パフォーマンスが期待できる。コンテナ植え、花壇植えともに生育旺盛で大輪の多花性のなので、存在感たっぷり。
 花後の花がら摘みは必須だが、連続開花性に優れ、花の大きさが変わらないのも長所。株もしっかりとまとまっており、切り戻し後はさらに花つきが良好となる。屋根付き施設内では花のシミが気にならなかった。ヨトウムシによる食害で葉の傷みが目立ったので、害虫対策は必要。
 コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞受賞。



7/25撮影



7/25撮影

屋根付き施設



2023/7/6
(定植後13日)



2023/7/20
(定植後27日)



2023/8/17
(定植後55日)



2023/9/14
(定植後83日)



2023/9/26
(定植後95日)



2023/10/26
(定植後121日)

露地花壇



2023/7/6
(定植後13日)



2023/8/3
(定植後41日)



2023/9/14
(定植後83日)



2023/10/26
(定植後125日)

ジャパンフラワーセレクション2023と過去の 入賞品種、特別賞受賞品種特別展示 出品募集のご案内

@
第72回
関東東海
花の展覧会

2024年1月26日(金)～28日(日)開催の「第72回 関東東海花の展覧会」で、ジャパンフラワーセレクションの受賞品種の特別展示を行いますのでご案内いたします(JFS受賞品種展示は、26日・27日の2日間)。2023年の受賞品種だけでなく、過去の受賞品種、またその関連品種、シリーズ品種など、消費者のみなさまが興味を持ってご覧になれるような場としたいと思います。ご出品のご協力を宜しくお願い致します。

* 関東東海花の展覧会とは…花に対する理解を深め、一層の花の消費拡大を図ることを目的として、関東東海地域の1都11県と花き関係6団体が主催する、日本で最大規模の伝統ある花の展覧会です。

■ PR展示の対象：過去のJFS入賞品種・特別賞受賞品種とその関連品種

■ 展示場所：東京 池袋 サンシャインシティ文化会館2階 展示ホールD (入場無料)

■ PR展示申し込み締め切り：2024年1月17日(水)

* 展示スペースに限りがありますので、締め切り日以前に締め切る場合があります。ご希望の方は早めにお申し込みください。

■ 展示品搬入日時：

① 宅配便による搬入の場合 **2024年1月25日(木) 午前中 必着**

② 出品者による直接搬入の場合 **2024年1月25日(木) 13:00～16:00 必着**

* この日以外は受け取ることができませんのでご注意ください。

■ PR展示期間：2024年1月26日(金)～27日(土)

■ 出品料：無料

■ 搬入先住所：〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-4 文化会館2階 展示ホールD
第72回関東東海花の展覧会 出展者名(一財)日本花普及センター

出品をご希望される方は、別添「受賞品種PR展示申込書 兼 花材出荷通知書」の様式にご記入の上、
メール又はFAXでお申し込みください。受領後、(一財)日本花普及センターより搬入についてご案内いたします。



関東東海花の展覧会(2023)の受賞品種PR展示の様子

お問い合わせ・お申し込みは 一般財団法人日本花普及センター まで

E-Mail jfpc@jfpc.or.jp

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3丁目6番17号

TEL: 03-3664-8739 / FAX: 03-3664-8743



ジャパンフラワーセレクション受賞品種は、
業界が推奨する優れた品種です。
自信をもってお客様へお勧めください。



<http://www.jf-selections.net/>



いい花の新基準。

<http://www.jf-selections.net/>

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内
TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743
メール : jfpc@jfpc.or.jp